

予算要求課	水道環境部 下水道課	内線 2267
-------	------------	---------

金額の単位は、千円

款	4 衛生費	項	2 清掃費	目	1 清掃総務費
事業名	42100	公衆便所維持管理費			

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		44,504	28,385	△ 16,119	26,134	施設維持管理費は実績に基づき精査 公衆便所整備工事箇所数の減少に伴い減	14,134	予算組替に伴い減
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	起債							
	その他							
一般財源		44,504	28,385	△ 16,119	26,134		14,134	

以下は予算要求時の内容

事業の目的			
公衆便所の整備及び維持管理			
事業実施の課題			
利用者ニーズにあった公衆便所の計画的な整備			
事業概要			
公衆便所の新築 1箇所 公衆便所の維持管理 11箇所			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
公衆便所数(箇所)	10	11	12
成果			
地域のにぎわいの創出、観光客の受入体制の充実			
要求額増減理由			
整備箇所数の減(2箇所⇒1箇所)			

①総合計画		
(2)「すみよさ」のあるまちをめざして		
環境・衛生		
(1)快適に暮らせる環境を整備する		
④公衆衛生の向上		
②実施計画・中期財政計画		
3「すみよさ」のあるまちをめざして		
(6)環境・衛生		
ソフト/ハード		
公衆便所管理事業/公衆便所整備事業		
③事業評価		
事業名		今後の方向性
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
④市長の約束		

予算要求課	水道環境部 下水道課	内線 2253
-------	------------	---------

金額の単位は、千円

款	4	衛生費	項	2	清掃費	目	1	清掃総務費
事業名	42115		浄化槽設置整備事業費					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		40,037	47,049	7,012	40,040	実績に基づき補助金交付件数を精査	40,040	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金	6,050	7,015	965	6,021		6,021	
	県支出金	6,139	7,089	950	6,092		6,092	
	起債							
	その他							
	一般財源	27,848	32,945	5,097	27,927		27,927	

以下は予算要求時の内容

事業の目的			
浄化槽の普及促進			
事業実施の課題			
少子高齢化や後継者不在・不足から、住宅の改造を伴う水洗化に対する意欲の低下が伺える。 よって、より一層の水洗化の普及啓発、促進が必要である。 岐阜県が定める設置基準によって、必要以上の大きさの浄化槽を設置しなければならない事例がある。			
事業概要			
浄化槽を下水道整備計画区域外の地域で設置する市民に対し補助金を交付する。			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
浄化槽設置補助金交付件数(件)	32	35	40
成果			
生活雑排水による河川の水質汚濁の進行を防ぐ 良好な生活環境を守る			
要求額増減理由			
積極的な周知・啓発による設置件数の増加見込み			

①総合計画		
(2)「すみよさ」のあるまちをめざして		
上・下水道		
(2)生活環境の向上と流域の水質保全を図る		
①下水施設の整備		
②実施計画・中期財政計画		
(3)「すみよさ」のあるまちをめざして		
(5)上・下水道		
ハード		
浄化槽整備事業補助		
③事業評価		
事業名	浄化槽整備事業補助	今後の方向性
評価区分	Ⅲ	浄化槽の設置は下水道の計画区域外における生活環境の向上と流域の水質保全を図るため必要なものである。 対象地区への周知・啓発を積極的に行うことにより早期の設置促進を図っていくことが必要である。
コスト・成果ポジション	コスト 中 成果 中	
実施方針	「Ⅱ」以上の水準に向けた改善が必要	
④市長の約束		

予算要求課	水道環境部 下水道課	内線 2971,2267
-------	------------	--------------

金額の単位は、千円

款	4	衛生費	項	2	清掃費	目	3	し尿処理費
事業名	42300		し尿処理施設管理事業費					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		209,246	223,311	14,065	198,491	施設維持管理費は実績に基づき精査 施設管理業務の外部委託化に伴い事業費が増(人件費は減) 飛騨市事務委託施設に係る地方債償還終了に伴い減	198,491	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	起債							
	その他	4,200	4,204	4	8,404		8,404	
一般財源		205,046	219,107	14,061	190,087		190,087	

以下は予算要求時の内容

事業の目的			
し尿処理施設の維持管理			
事業実施の課題			
現有施設の延命化			
事業概要			
環境センター、久々野衛生センターの維持管理 飛騨市への事務委託			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
し尿処理場(直営)数(施設)	1	1	0
し尿処理場(委託)数(施設)	1	1	2
成果			
持続可能な維持管理運営 快適で衛生的な生活環境の実現			
要求額増減理由			
施設管理委託料の増(直営⇒委託) し尿処理施設のあり方についての調査費の増			

①総合計画		
(2)「すみよさ」のあるまちをめざして		
環境・衛生		
(1)快適に暮らせる環境を整備する		
⑤し尿処理対策		
②実施計画・中期財政計画		
(3)「すみよさ」のあるまちをめざして		
(6)環境・衛生		
ソフト/ハード		
し尿処理施設管理事業/し尿処理施設維持修繕・改修事業		
③事業評価		
事業名		今後の方向性
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
④市長の約束		
住みやすい街を創ります		
6 市民の生活と命・財産を守ります。		
・快適な生活環境の整備を進めるため、下水道の整備を進めます		